

11/27 **もしも地震が...**
NPO団体が広報絵本を発行

一昨年の広報いすのくに十二月号(83号)に掲載された特集記事が、沼津市の災害救援ボランティア団体「NVN」(稲木寛男理事長)の企画・発行により、絵本化されました。

内容は、広報に掲載した八ページに新しく絵や文を追加した十六ページの物語で、タイトルは「防災広報絵本『もしも地震が起こったら』」。

この日、NVNから市に二十冊の絵本が寄贈され、市内小学校や図書館に貸し出し用として配布されました。皆さんも、もう一度読み直して、家族全員で「東海地震」について考えてみてください。

防災広報絵本の問合せ
日本沼津災害救援ボランティアの会
NVN 電話055(967)45664



絵本を寄贈するNVN代表者(写真上)と防災広報絵本(写真右)

11/14 **地域が育てる青少年**
青少年健全育成大会

十一月の県青少年健全育成成功調剤間にあわせ、「平成二十一年度伊豆の国市青少年健全育成大会」わたしの主張発表大会」を葦山時代劇場で開催しました。

会場に集まったのは、関係団体や市民ら約四百人。市青少年育成会の古澤四郎会長は、児童・生徒の皆さんの楽しい生活を支えている地域の大人たちに、感謝の気持ちを忘れずにとあいさつしました。

大会では、青少年健全育成成功者の表彰、市内小・中学校の児童・生徒代表者十人による「わたしの主張発表」、市内三中学校の合唱・吹奏楽演奏を行いました。



古澤会長から表彰を受ける功労者(写真上)『わたしの主張』を発表する児童代表者(写真右)



両市の音頭も披露され、盛り上がった交流会

11/28 **両市の音頭で交流を**
市民団が長岡京市訪問

京の都が紅葉に染まるころ、伊豆の国市友好都市交流協会(江間章会長)の市民団四十七人が、姉妹都市の京都府長岡京市を訪問しました。例年は、十一月月上旬の長岡京ガラシヤ祭のパレードに参加していた市民団でしたが、昨年は国民文化祭の開催と時期が重なったため、少し遅れたの訪問となりました。

市民団は、東福寺や光明寺、大山崎山荘など京都の紅葉の名所を巡り、夜は、長岡京市長や議長、長岡京市友好交流協会のメンバー三十五人と交流を深めました。交流会では、伊豆の国市の「あやめ音頭」と、長岡京市の「長岡京音頭」をお互いに披露し、踊りを教え合うなど、会員同士の交流に花が咲きました。

11/18 **思い出を埋め込んで**
新・皆沢橋に絵とプレート設置

昨年からの掛け替え工事が進められてきた皆沢橋(長岡)の完成を前に、長岡南小二年生三十二人が、橋りょう表面に絵を描きました。また六年生も記念のコンクリートプレートを制作し、コンクリートが固まる時に発生する熱で、温泉まんじゅうを温めて食べました。

十一月十八日の「土木の日」に合わせたこれらの取り組みは、子どもたちに橋への愛着を深めてもらうと、県沼津土木事務所が企画しました。橋の完成後には、二年生の絵は道路舗装の下に埋まり、六年生のプレートは橋の一部に組み込まれ、思い出として残ります。なお皆沢橋は、十二月十七日に開通しました。



橋りょう表面に絵を描く長岡南小2年生たち

12/3 **健闘！市の部十八位**
静岡市町村対抗駅伝大会

第十回記念静岡市町村対抗駅伝大会が静岡市で開かれ、県内三十七市町から四十一チームが出場しました。選手たちは県庁本館前、県営草薙陸上競技場までの十一区間四十二・一九五kmを、郷土の誇りと期待を背負い、タスキをつなぎました。去年七月から厳しい練習を積み重ね、大会に臨んだ伊豆の国市チームの成績は、二時間二十五分三十一秒で、市の部十八位でした。

また今回は、静岡市葵区大岩町の皆さんが、地区をあげて伊豆の国市チームを応援してくれました。皆さん、ありがとうございました。

そして、市の代表として健闘した選手やスタッフら関係者の皆さん、本当にお疲れさまでした。



市の代表として健闘した選手・スタッフの皆さん

11/18 **全国、東海大会へ**
葦山・大仁ジュニアテニスクラブ

葦山ジュニアテニスクラブと大仁ジュニアテニスクラブの選手が、県大会の入賞を市長に報告しました。

まず、十月開催の東海小学生ソフトテニス県予選では、鈴木みずささん・梅原奈央さんペアが優勝、矢田一馬くん・室伏宏紀くんペアと木田美玖さん・相原朋美さんペアが二位、本多優花さん・遠藤紀香さんペアが三位に入り、十二月開催の東海大会出場を決めました。

また、十一月の全国小学生ソフトテニス県予選五年生の部では、鈴木さん・望月結佳さんペアが三位に入り、三月二十九日に千葉県で行われる全国大会の切符を手に入れました。小学生の活躍ぶりに市長は、いつも上位です」と驚きつつ、全国・東海大会出場を激励しました。

11/21 **県三位で東海へ**
葦山少年サッカークラブU10

十一月二十一日・二十二日に小笠山総合運動公園で開催された、しんきんカップ第二十四回静岡県キッズU10八人制サッカー大会において、伊豆地区を代表して県大会へ出場した葦山少年サッカークラブ(スポーツ少年団)が、予選リーグを一位通過し、決勝トーナメントで見事三位に入賞しました。その結果、一月十六日(土)・十七日(日)に岐阜県閉市で開催される「J.A全農杯チビリンピック2010小学生八人制サッカーIN東海」に県代表として出場します。市民の皆さんの温かい応援をお願いします。



東海大会に出場する葦山少年サッカーU10のメンバー



不法投棄はさせない、されなく、許さない！

PICK-UP! **不法投棄は犯罪**
させない、されなく、許さない

十二月に、市内の「不法投棄防止統一パトロール」を実施しました。これは、不法投棄の早期発見や未然防止等を図るため、年二回、県内一斉に行われているものです。

ごみの分別収集や環境に対する意識が高まり、家庭から排出されるごみが減る一方で、不法投棄は後を絶ちません。一部の心無い人たちの不法投棄のために、まちの美観が損なわれ快適な生活環境が破壊されてしまつのは、許されることではありません。不法投棄は犯罪です。

不法投棄の撲滅のための監視に、皆さんも協力をお願いします。また同時に、日ごろから身近な環境を清潔に保ち、ごみを捨てられない環境づくりをしましょう。